

海賊対処の第30次派遣部隊がソマリア・アデン湾に向け出港

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第30次隊）出国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動のために派遣される第30次派遣水上部隊の出国行事が3月25日（日）に開催され、部隊が乗艦する護衛艦が佐世保基地(長崎)から出港した。

同部隊は、第5護衛隊司令（中村讓介1等海佐）の指揮の下、護衛艦「あけぼの」（波江野裕一艦長）が任務にあたる。部隊は、隊員約210名並びに海上保安官8名により編成されており、現地に到着次第、先に派遣された第29次部隊の護衛艦「せとぎり」に替わり、護衛活動を開始することになる。

式典では、菊池聡佐世保地方総監が防衛大臣訓辞を、同じく糟井裕之海将が自衛艦隊司令官訓辞を代読した。

当協会からは磯田副会長、飯野海運 荒木取締役常務執行役員、川崎汽船 綾執行役員ほか3名、国際船員労務協会からは赤峯会長、今田副会長ほか1名の計9名が出席し、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗組員の方々に感謝の意を表した。

（海務部 加島）

出国行事



防衛大臣訓辞を代読する菊池 佐世保地方総監



自衛艦隊司令官訓辞を代読する糟井海将



挨拶をされる磯田副会長



挨拶をされる赤峯会長



「あけぼの」に乗艦する派遣隊員



出港する「あけぼの」



横断幕と共に、護衛艦を見送る日本船主協会関係者